

## 給食費改定の手続きの見直しについて（報告）

### 1. 見直し理由

これまでの給食費改定の手続きについては、事務局から教育委員会へ改定案を提示し、学校給食の質的な観点、また、無償化以前は保護者の負担感を考慮した金銭的な観点における適正さを、学校給食審議会へ諮問し、教育委員会で決定してきた。

しかしながら、無償化が開始されたため、金銭的な観点においては、市予算として財政的な検討をし、決定している。また、質的な観点においては、物価高騰が続いているため、主に、基本物資（主食・牛乳）を中心として契約単価の上昇分を改定の増額幅とし質を維持する対応をしている。

金銭的また質的な観点のいずれについても、教育委員会及び学校給食審議会での審議が必要なものとなっていないため。

### 2. 見直し後の手続き方法

無償化下における基本物資の契約単価の変動分を反映させるための給食費改定においては、市予算として財政的な検討を行った上で、学校給食審議会への諮問をせず、教育委員会事務局での文書起案の決裁による給食費改定の決定とする。

その場合も、教育委員会及び学校給食審議会に対しては、改定後に給食費の副食率及び栄養価の充足率と一体で報告することで、適正な運営をおこなってまいりたい。

また、上記下線部以外が理由の給食費改定においては、これまでどおり、教育委員会で決定することとし、学校給食審議会への諮問を行うこととする。

### 3. 手続き方法の新旧対照表

旧	新
教育委員会(事務局)での改定案の検討	教育委員会(事務局)での改定案の検討
↓	↓
↓	市における予算要求・財政的観点での検討
↓	↓
教育委員会への改正案の提出	教育委員会(事務局)での起案・決裁による決定
教育委員会から学校給食審議会への諮問	↓
学校給食審議会から教育委員会への答申	↓
教育委員会での決定	↓
↓	学校給食審議会への報告
↓	教育委員会への報告
市における予算要求	

八戸市学校給食条例（関連から抜粋）

（給食費）

第4条 学校給食法第11条第2項において学校給食を受ける児童又は生徒の保護者の負担とされている経費に充てるための費用（以下「給食費」という）は、八戸市教育委員会が定める。

（学校給食審議会）

第5条 学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため、八戸市学校給食審議会を設置する。

2 審議会は、教育委員会の諮問により学校給食の運営について審議し、その結果を教育委員会に答申する。

# 令和7年度 マイブック推進事業について

《H26事業開始：12年目》

実施期間 令和7年7月1日(火)～9月30日(火)

# 1 事業の概要

## 1 趣旨

小学生が書店に足を運び、自ら本を選び購入する体験を通して、読書に親しむ態度を養う。

## 2 事業開始 平成26年度(12年目)

## 3 実施方法

市内の書店で書籍を購入できるマイブッククーポン(以下、「クーポン」)を、児童一人に2,000円分(500円券×4枚綴り)配布する。

## 4 配布対象

- ・八戸市立小学校に在籍する全児童(令和7年度:9,812名)
- ・八戸市内にある青森県立特別支援学校小学部に在籍する全児童(令和7年度:162名)

## 5 クーポン使用期間 7月1日~9月30日

## 6 クーポン対象外書籍

- ・コミック ・雑誌 ・ゲームの攻略本 ・学習参考書 ・学習ドリル

## 7 参加書店 八戸市内の書店8店

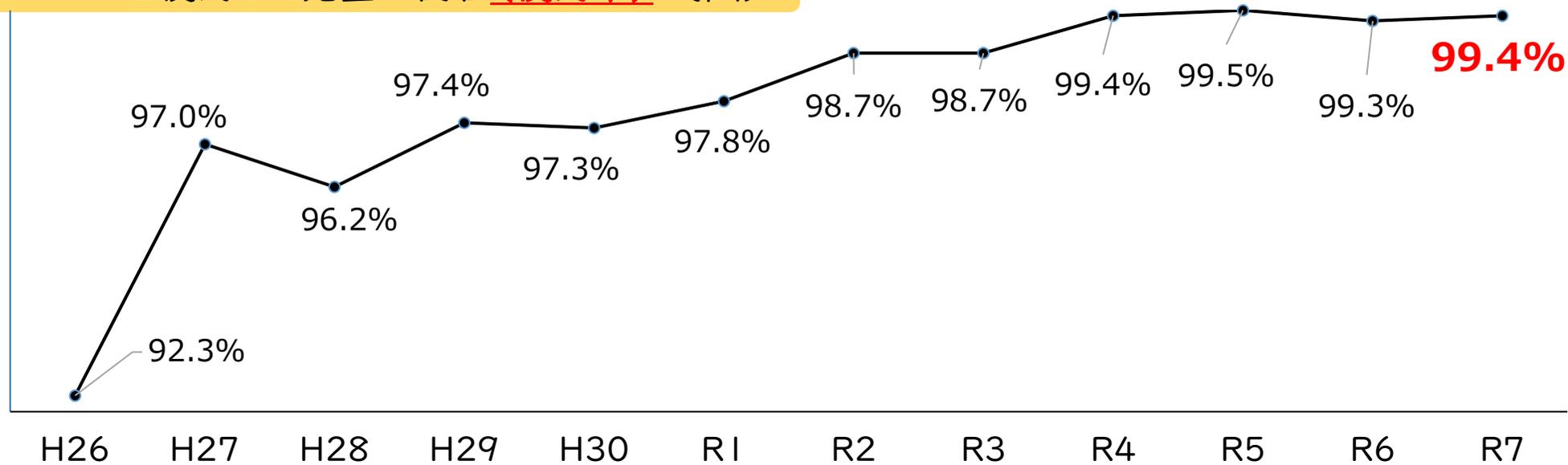
## 8 予算(令和7年度) 一般会計 21,223千円

## 9 その他

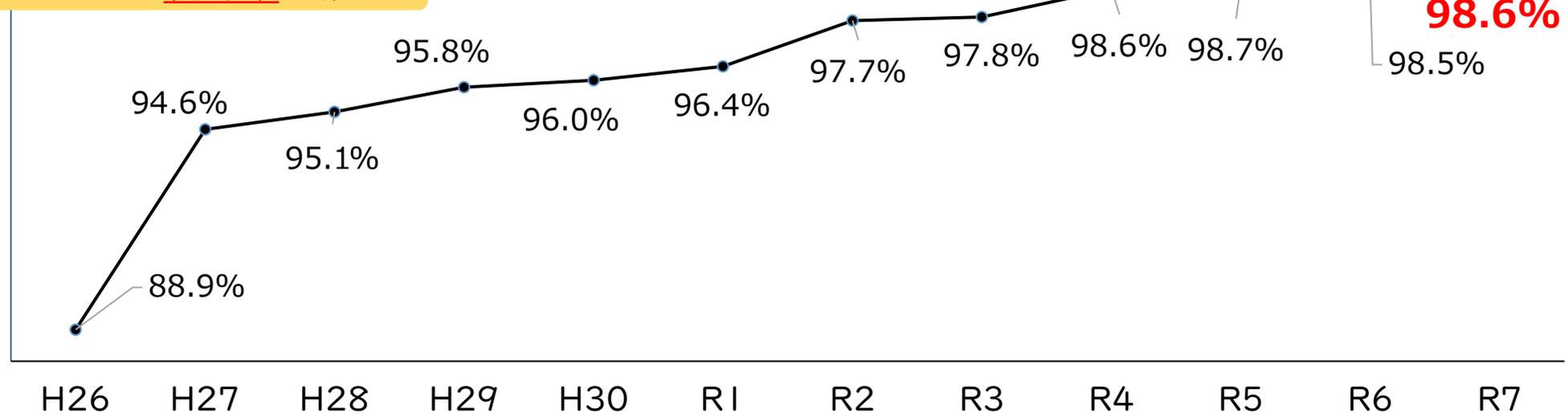
- ・クーポンで書籍を購入する場合は、おつりが出ない。(図書カードとの併用可能)
- ・クーポンを紛失・破損・汚損した場合には、未使用の場合に限り、再発行する。
- ・八戸市外から転入した児童にもクーポンを配布し、転入時期により、使用期限を延長する。

## 2 クーポンの使用状況 <<市立小学校>>

クーポンを使用した児童の割合(使用率)の推移

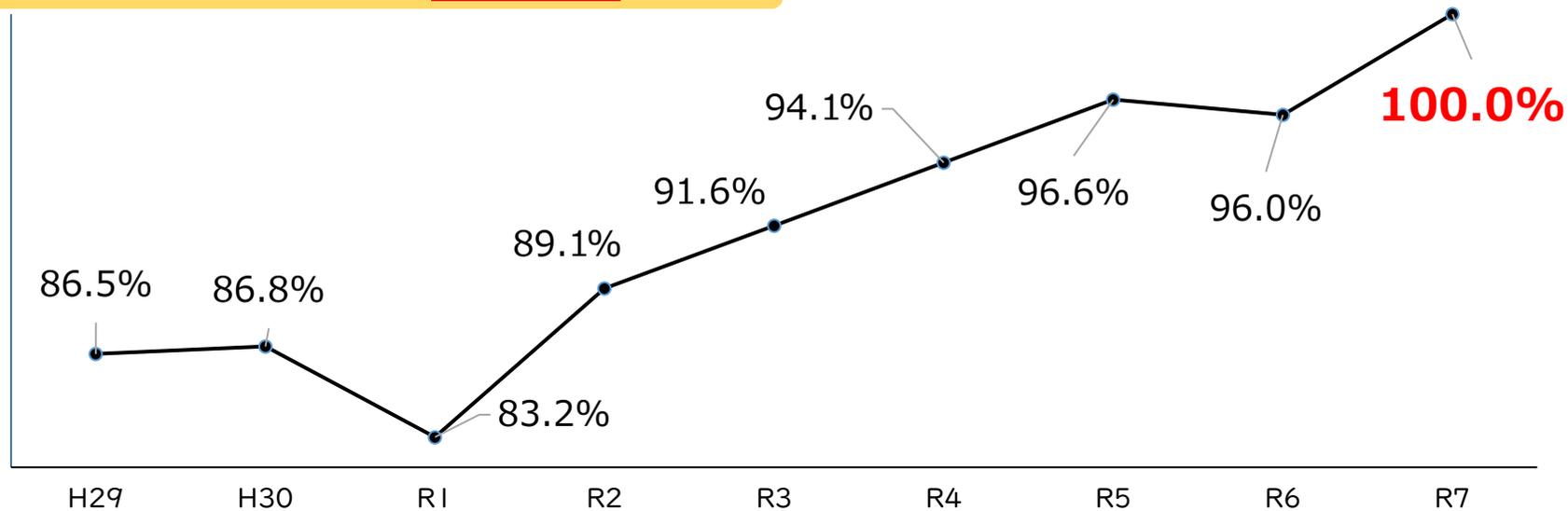


クーポンの執行率の推移

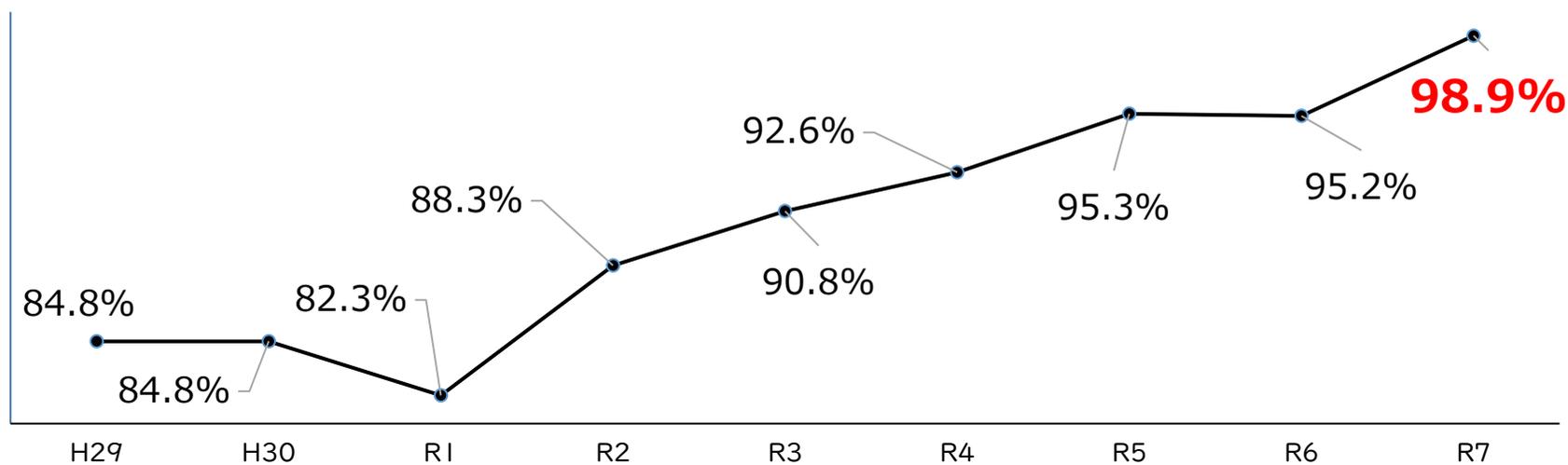


### 3 クーポンの使用状況 《県立特別支援学校》

クーポンを使用した児童の割合（使用率）の推移



クーポンの執行率の推移



### 4 主な取組の状況

#### ブックリストの作成・配布

- 児童の本に対する興味・関心を喚起するために、おすすめの本を紹介するブックリスト「本はともだち」を作成し、クーポンと一緒に全児童に配布。
- ブックリストに掲載する本は、八戸市立図書館、八戸ブックセンター、八戸工業高等専門学校名誉教授、学校司書が連携して選書した。
- 用紙は三菱製紙八戸工場から提供していただいた。



#### ポスターの作成・配布

- ポスターを2通り作成し、各学校及び参加書店へ配布した。
- ポスターのデータも各校に提供し、必要に応じてプリントアウトして活用できるようにした。
- 本事業参加書店へ「使い方ポスター」を配布し、書店を訪れた児童がブッククーポンの使い方を知ることができるようにした。



出張ブックトークの実施

《内容》ブックリスト「本はともだち」に掲載されている本を中心に、本の内容の紹介や読み聞かせ等により、本に対する興味や関心を高める。

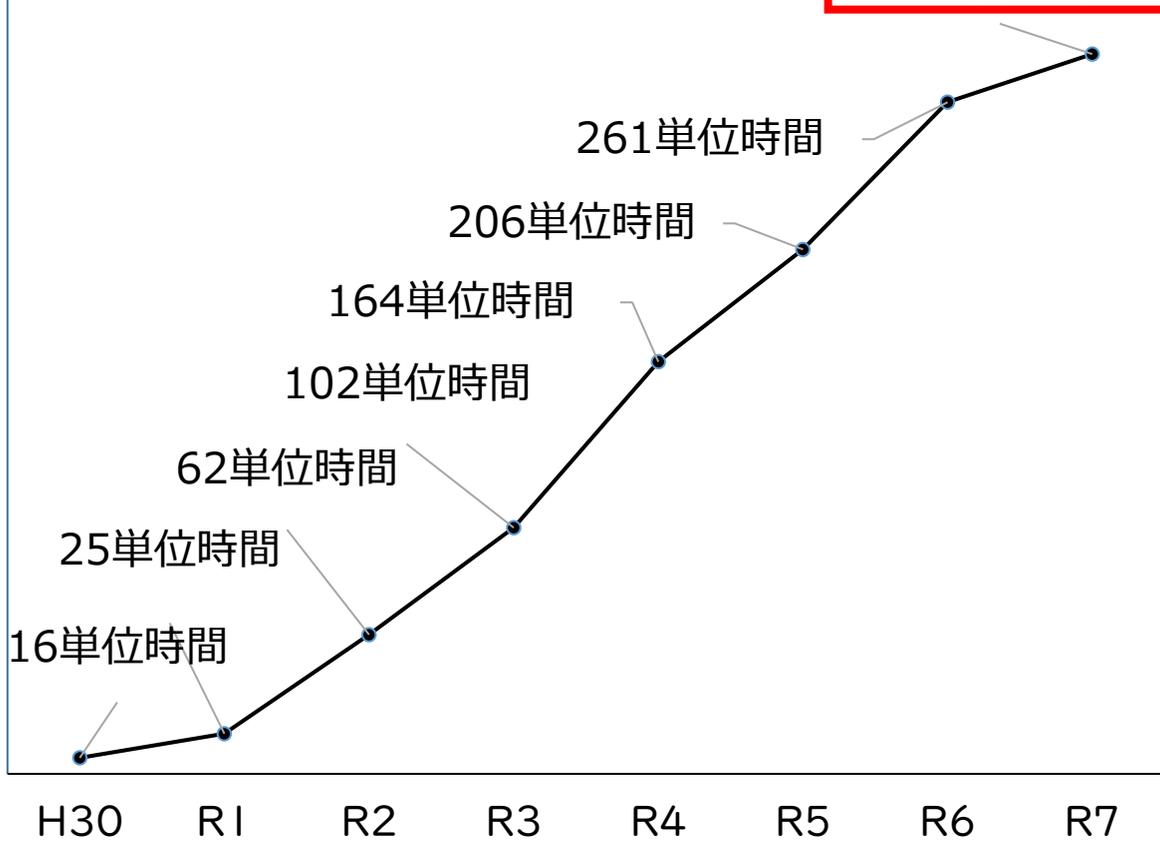
《対象》希望する市内の小学校

《講師》学校司書

◇出張ブックトーク実施時間数の推移(1単位時間=45分間)

[35校で実施]  
279単位時間

年	実施時間数	対象児童数
H30	16単位時間	521人
R1	25単位時間	1,026人
R2	62単位時間	1,607人
R3	102単位時間	2,759人
R4	164単位時間	4,250人
R5	206単位時間	5,618人
R6	261単位時間	7,304人
R7	279単位時間	7,349人



出張ブックトークの実施



# 伊吉書院 西店



書店の取組

# 伊吉書院 類家店



# TSUTAYA八戸ニュータウン店



## カネイリ 番町店

## (八戸ブックセンター)

「本はともだち」で紹介されている本のコーナーを作っています。



書店の取組

## 成田本店 みなと高台店

## 未来屋書店 八戸店





川村商店

みなみ書店



## 5 保護者アンケートより〈抜粋〉

### 《親と対話する子ども》

毎年ありがたく使わせていただいています。子どもと本の話ができて、親子の時間の充実につながっています。

### 《子どもが自分で選ぶ》

毎年子どもが本を選ぶのを楽しみにしています。

### 《市立図書館・学校図書館・家庭で本に触れる子ども》

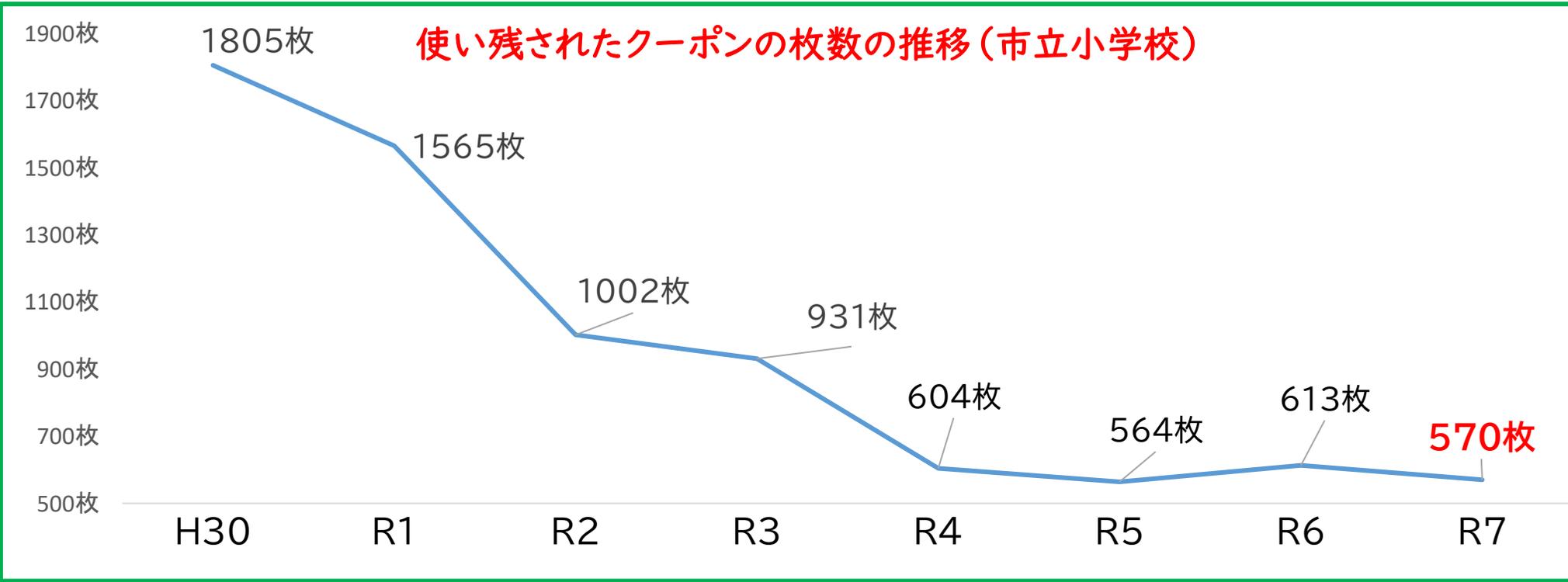
本が好きで、市の図書館にも、学校の図書室にもよく行きます。借りるだけでなく、手元に置いて何度も読む 自分の本として、ほしい本が何冊もあり、自由に選べるため毎年ブッククーポンを楽しみにしています。今年もありがとうございました。今年もほしい本が買えて喜んでます。

### 《障がいをもっている子ども》

我が子は、字を読む事も話すこともできないので、歌絵本を買わせていただいたお礼です。毎回とても喜んでいて、本当にありがとうございます。

### 《八戸市に転入してきた子ども》

八戸市に来てブッククーポンというものを初めて貰いました！子どもが嬉しそうに本を選んでいて、素敵な取り組みですね。ありがとうございます。



- クーポンを1枚使い残す人数が最も多い。
- 図書カードとの併用を周知するなどより効率的なクーポンの活用について、書店とも連携しながら検討していく必要がある。



## 令和7年度 学校教育実践功労表彰について（報告）

今年度の学校教育実践功労表彰について、下記のとおり表彰団体を選定し、表彰式を行いましたので報告します。

### 記

#### 1 趣旨（制度の目的）

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことを目指して実践的に教育活動を展開し顕著な成果を上げた研究や活動を表彰し、八戸市の学校教育の質の向上を図る。

#### 2 選定・表彰の概要

##### (1) 選定までの経過

令和7年9月17日（水）	募集開始
令和7年12月5日（金）	募集締切り（応募団体：2団体）
令和8年1月19日（月）	意見聴取会及び選考委員会の開催 (応募団体へのヒアリング・書類審査・選考)

##### (2) 選定結果

選考委員会（小・中学校長会代表、小・中学校教育研究会代表、市連合PTA代表、教育委員会事務局）で総合的に検討し、応募された2団体とも優れた実践を行い顕著な成果を上げていると判断し、表彰団体として選定した。

##### (3) 表彰式

○日時	令和8年2月5日（木）	13:40～15:10
○会場	総合教育センター	大研修室

#### 3 表彰団体

<研究部門> 八戸市立三条中学校  
[内容] 「全校生徒参加の縦割り班による防災訓練」

<活動部門> 八戸市立新井田小学校・大館中学校  
[内容] 「地域と連携・協働した教育活動及び地域貢献活動」  
～地域とともにある学校づくり～